

買い物難民と高齢者の見守りを軸に
村民の皆様から愛される存在へ



買物支援車 わんつCAR

買物支援車“わんつCAR”は「地域の見守り」を主軸に、見守りが必要な方や買物に困りごとを抱える方を支援するために誕生しました。

令和4年度は試験運行としスタートしており、まずは地域の高齢者と『仲良く』なれるようにコミュニケーションをとり、ニケーションをとり、要望を伺い、試行錯誤しながら運用していきます。

「見守り」『地域の活性化』につながるよう事業を進めることが目標です。

実際に買い物に訪れた方に話を聞くと「このように買物支援で来てくれると、普段買い物に行けないので、非常に助かる。仲間にも声を掛けて、また利用したいと思う」と新たな事業に対するの気持ちを話してくれました。

「近所で声を掛け合って利用させていたんだけど」と近所付き合いの活性化も伺えました。

買物支援車を担当する社会福祉協議会 藤田主査は「この買物支援車をきっかけに何十年ぶりに買い物をしたという方もいた。周りの人とも声を掛け合っ一緒に連れてきてくれる人もいた。とても嬉しく感じました。このように人と人との繋がりを生み出していければ、この買物支援車の存在に意味があったと感じられると思う。高齢者の見守りに加えて、買い物難民の方たちを陰から支えられる存在になれば嬉しいです」と思いを話し、今後の意気込みが感じられました。

日曜日

白糠地区

火曜日

小田野沢地区

水曜日 石藤平・下田
屋・上田屋・桑原・蒲野沢・鹿橋・石持地区

木曜日

尻労・古野牛川・入口・稻崎・東栄地区

金曜日

施設・打合せ

